

団体・家族用

落ち葉でアート

プログラムの概要・ねらい

施設内を歩いて絵にできるような落ち葉を見つけきて、集めてきた落ち葉を生かして作品を作る。自然に親しむと同時に創意工夫しながら自分だけのオリジナルな作品を楽しく作ることができる活動である。

場所	団体：クラフト室、実習室 家族：サービスセンター前		
時間	1時間30分～2時間00分		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	各部屋 席数 48
準備物	【利用者】 ぞうきん、新聞紙、活動に適した服装 【自然の家】 材料（厚紙画用紙・キッチンペーパー）、木工ボンド、ホットボンド		

①準備

材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
窓を開け、部屋の換気を十分に行う。新聞紙を机の上に敷く。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 落ち葉をどのように使って絵にするか見本を参考に説明する
どのような葉を集めてくるかを話し合う。(大きさ・色・葉の種類等)
- 0:10 使用する落ち葉を収集に出かける。(雨天のときには、事前に落ち葉を集めておくが良い)
- 0:30 集めた落ち葉をバケツに入れて水洗いし、汚れを取る(落ち葉が壊れなし程度に2～3回)
- 0:40 水気を取る (新聞紙の上に置く→葉の上に新聞紙を置き軽く手で押す)
(写真①②)
- 0:45 どのような絵にしていくか構想を練る
- 0:55 構想に従って、落ち葉を選んだり並べたりしておよその絵をつくる。落ち葉が濡れている時にはキッチンペーパーで拭きながら行う (写真③)
- 1:05 落ち葉を貼り付ける
- 1:50 作品の完成(写真④)
- 2:00 片付けて終了

①



②



③



④



③後片付け

団体：工具等を元へ戻し、電動工具のコンセントを抜く。
ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。
(掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照)
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。
クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。
家族：机の上に敷いた新聞紙を木くずと一緒にゴミ箱へ捨て、机の上をきれいにする。
借りた備品をサービスセンター受付に返却する。